

1986(昭和61年)

会員数52名

35代理事長

三瀬 泰介



創立35周年を迎えたこの年、設立以来先輩諸兄により絶やすことなく培われてきた「創造の精神」を今一度思いおこし責任ある青年の組織として、より一層積極的な運動を展開すべく1986年のスタートを切った。

1月1日の新年合同祝賀会の席上次の3つの重点事業が発表された。

1、創立35周年事業の推進

2、21世紀へ向って新たな挑戦 町づくり、ふるさとづくりを目指し「21世紀特別室」の設置

3、青年期を迎えた八幡浜児童合唱団の新たな展開をこれらの事業を成功させるべく3つの特別委員会が設置された。

3月10日には「ラブ八戸運動」で有名な日本青年会議所河村会頭が来浜され、魅力あるまちづくり、魅力ある人づくり魅力あるJCづくりについて熱き思いを語られた。愛するふるさとの活性化の為我々も大いに勇気づけられたのである。

6月15日あいにくの小雨模様であったが、OB、来賓、スポンサーJC（山本泰人東京JC理事長）など数多くのお客様をお迎えし、創立35周年記念式典が挙行された。



創立35周年記念式典市民会館ホール

式典終了後、三瓶、三崎、瀬戸、保内の4町長と八幡浜市長による「21世紀の展望」と題して八西サミットが開催され八西地域、発展の為一市五町が一致団結せねばならぬという点で意見が一致。予定時間がオーバーするほどもあり上がりであった。その後盛大に懇親会がもよおされ我が八幡浜JCのパワーとOB諸兄の存在の大きさに感激した一日であった。



創立35周年大懇親会セントユリーホテルイトにて

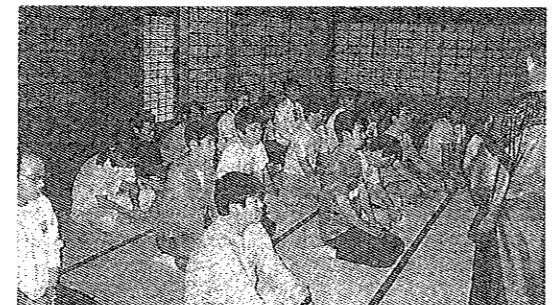
9月21日、創立35周年の記念事業として「さだまさしコンサート」が開かれた。当日は会場に入りきらないほどの市民に来ていただき熱のこもったコンサートとなった。

又、35周年の記念として八幡浜市にキャンプ用テント10張が寄贈された。

団結成以来13年を経た児童合唱団も本年は初めて西日本大会に参加。結成10周年記念曲「わらべうた」を披露してその素晴らしさを再認識すると共に、質の向上をはかるべく一年間にわたり検討がなされた。

11月27日には、一年間の成果を発表すべて21世紀特別室報告会が開かれ21世紀への位置づけ、展望、基本構想が発表された。これを契機に、我々メンバー自身が、21世紀を展望するスタート点となったのである。

これらの特別事業の他にも活発に委員会活動が行なわれた。



L.D.道場法通寺にて座禅



おまつり広場北浜グランド



おまつり広場北浜グランド



3世代交流ゲートボール大会

1987(昭和62年)

会員数55名

36代理事長

谷本典量央



『魅力あるJCづくり』『魅力あるまちづくり』を基本方針に、6名の新入会員を迎え総勢55名でスタートしたこの年、八幡浜青年会議所は「LOM活性化会議」「まちづくり委員会」「研修委員会」の3委員会を新設し、LOM内の充実並びに地域づくり特に力を入れた運動の展開を進めていった。

まちづくり委員会においては、「八幡浜の魅力度アンケート調査」の実施を通して私たちの故郷の魅力を客観的に捕らえるため、市人会・同窓会名簿などから市外・県外で活躍されている方々に外から見た「八幡浜」についての御意見を寄せて頂いた。中には、丁寧な書簡を添えて頂くなど予想以上の反響があり、「八幡浜」の魅力の掘り起こし、再認識に大いに役立つものとなった。また、9月には近隣のLOMの情報交換・親睦の場となった「港町フォーラム87」を「海で結ぶ未来のまちづくり」のスローガンのもと主導し、宇和島・南宇和・白杵・別府・佐賀関・八幡浜の6つの港町のLOMが集まり町の現状、これから展望などについて意見を交換した。



第1回JC青年会議所交流会
白杵JCとの交流会・経営セミナー



第1回港町フォーラムフェリー船内にて

LOM活性化会議では、年間を通して過去のLOM事業の見直しをし、その成果を八幡浜青年会議所内部充実の一助を担うため一冊の報告書にまとめた。この報告書は、先輩方の活動の一端を知り、それぞれの委員会活動の方向性を見出す事ができる画期的な資料となった。

また、5月に主催した愛媛ソフトボール大会では、初めての試みである前夜祭の開催、悪天候によるグラウンド整備など、メンバーが一丸となって全力で準備に当たり、その甲斐あって優勝の栄に輝いた。

8月9日、川之浜で行なわれた家族会には、100名を越える参加者があり、家族サービスに努めるメンバーの笑顔をあちこちで見ることが出来た。



指導力・研修委員会合同研修会



市内小学生を対象に講訪問にて



家族会川之浜海水浴場にてバーベキュー